

KYOEI NEWS

 共栄システム株式会社 
 〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号
 TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517
 e-mail osaka@kyoeisystem.co.jp
 URL http://www.kyoeisystem.co.jp

【運送会社の経営情報】 運転手不足と労働環境

総務省の労働力調査によりますと、2015年のトラック乗務員は約80万人で、前年に比べて3万人減少したとのことです。今後このまま減り続けると2020年度には約10万人のトラック乗務員が不足すると言われています。その中で特に深刻なのは若者の就業が少なく、高齢化が進んでいるところにあります。現在トラック乗務員の内、40代以上が70%を占め、15%は60代以上となっています。若者就業者の減少と今後予想される高齢者の退職で一層人手不足の深刻化が進むことになります。若者のトラック乗務員離れの原因は長時間労働とその割には低い賃金水準にあります。

2014年の厚生労働省の調査によりますと、全産業と運送業の労働時間と賃金格差は以下のようになっています。

	道路貨物運送業(大型)	道路貨物運送業(中小型)	全産業
年間所得額	442万円	375万円	480万円
年間労働時間	2,592時間	2,580時間	2,124時間
賃金額/時間	1,705円	1,453円	2,260円



労働時間1時間当たりの賃金が、全産業の平均に比べて大型運転手で25%、中小型運転者では35%低くなっています。最近飛躍的に増加しているインターネット販売の配達を巡り、大手物流会社においても乗務員不足から配達機能に大きな障害が生じていることが社会問題として新聞紙上を賑わしています。恒常的な人手不足は、物流の停滞を招きます。各企業においてもその対策として「共同輸送」への取り組み、路線バスで乗客と荷物を一緒に運ぶ「客貨混載」、トラック輸送の一部を鉄道に切り替える「モーダルシフト」等の取り組みを強化しつつあります。

しかし中小の運送事業者にとって人手不足解消の最大のネックは、賃金と長時間労働にあります。

今年の3月に発表されたトラック運送事業(10人～99人規模)の月例賃金と労働時間の過去5年間の推移は次のようになっています。

(全日本トラック協会H28調査版)

年度	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
月例賃金	303,500円	308,500円	307,500円	318,200円	323,600円
総労働時間	217時間	209時間	211時間	214時間	213時間



※月例賃金：決まって支給する現金給与額 総労働時間(男子)：所定労働時間＋超過労働時間
 上表によると、賃金額は人手不足が深刻化し始めた平成26年頃から上昇傾向にありますが、労働時間の方は、一向に改善されていません。また前述のように上昇傾向にあるといっても賃金の水準は他産業に比べまだまだ低く、若者にとっては「魅力ある職場」とは程遠いイメージがあります。これらの原因としては、運送事業特有の課題である手待ち時間の負担や適正な運賃収受ができていないといった点にあります。最近では手待ち時間に対してそれ相当のチャージを要求する運送事業者も出現しています。人手不足解消のためには、しっかりしたコスト計算の上で適正運賃を収受することにより一定水準の賃金、労働時間の短縮等より快適な労働環境を実現していくことが必要です。

※※共栄ニュースはeメールによる配信も承ります。※※

ご要望の際はメールアドレスを FAX(06-6535-7517)までご連絡ください。

貴社名() アドレス()